

フラッシュ家具製造管理ソフト
「職人魂～家具屋編～」
30日間無料評価版操作マニュアル

2012/8

開発：TGKシステムズ

tgk@m5.catvmics.ne.jp

サポート：ケイズファニチャーアシスト

k.sakuma@ktb.biglobe.ne.jp

目次

1 「職人魂～家具屋編～」の概要

- 1-1 職人魂の操作手順
- 1-2 ご利用の準備
- 1-3 職人魂を起動させる

2 家具の基本データを入力する

- 2-1 物件情報を入力する
- 2-2 材料の選択をする
- 2-3 製品情報とサイズを入力する

3 家具の詳細データを入力する

- 3-1 構造データを編集する
- 3-2 可動部品データを編集する

4 パネルデータを作成する

- 4-1 パネルデータを作成する
- 4-2 パネルデータを修正する
- 4-3 パネルデータを追加する

5 作業指示書を出力する

- 5-1 作業指示書を出力する

6 その他の機能

- 6-1 見積り機能
- 6-2 雛型登録機能
- 6-3 CAD出力機能

・・・現在改定中

7 初期値編集

- 7-1 保守
- 7-2 製品構造データ初期値編集
- 7-3 可動部品データ初期値編集
- 7-4 パネルデータ初期値編集
- 7-5 基本仕上材データ初期値編集
- 7-6 単価データ編集
- 7-7 その他の編集

1 「職人魂～家具屋編～」の概要

この度はフラッシュ家具製造管理ソフト「職人魂～家具屋編～」をご利用頂き、誠にありがとうございます。このソフトはフラッシュパネルの作業指示書を瞬時に作成し、さらには原価計算見積りやCAD出力まで行うことができます。このソフトを使うことで、箱物フラッシュ家具の製造が大幅に効率化されます。

1-1 職人魂の流れ

1-2 ご利用の準備

1-3 職人魂を起動させる

1-1 職人魂の操作手順

「職人魂」を使って家具データを作成し、作業指示書を出力するまでの手順は以下の通りです。

- **家具の基本データを入力する**

物件名や使用する仕上げ材料、家具の箱寸など基本となるデータを入力します。



- **家具の詳細データを入力する**

家具の基本データを元に家具の構造の細かい設定を行い、さらに扉などの可動部品を加えていきます。



- **パネルデータを作成する**

家具データを元にパネルデータが作成されます。出来上がったパネルデータを家具の仕様に合わせて修正します。



- **作業指示書を出力する**

修正を加えたパネルデータを元に、作業指示書を出力します。

ここまでが、「職人魂」の主な手順となります。

その他にも便利な3つの機能があります。

- 見積り機能
- 雛型登録機能
- CAD出力機能

大変便利な機能になっておりますので、状況に応じて使用してください。

1-2 ご利用の準備

「職人魂」のご利用にあたり、以下の準備をお願いします。

① 「Microsoft Access 2010 Runtime」のダウンロード

「職人魂」はマイクロソフト社の「Microsoft Access 2010（データベースソフト）」を利用して制作しています。これを起動させるには「Microsoft Access 2010 Runtime」というソフトが必要になります。マイクロソフト社のサイトから無料でダウンロードできます。

② 「職人魂」のソフトとマニュアル

無料評価版をご利用希望の方には、メールにてソフトとマニュアルを送らせていただきます。

送付ファイル

- ・「FS82」（圧縮フォルダ）
- ・「職人魂マニュアル」（圧縮フォルダ）

まずはこの2つの圧縮フォルダをデスクトップもしくは任意のフォルダに保存してください。

このフォルダを右クリックし「すべて展開」をクリックし解凍すると、「FS82」というフォルダが作成されます。

このフォルダの中には

「FS82_nxls120807」

「FSInitData」

「Key」

「tmpMdl」

という4つのファイルが入っています。

この中の「FS82_nxls120807」ファイルをダブルクリックすると、システムが起動します。4つのファイルが同じフォルダ内にないと正しく起動できませんのでご注意ください。

無料評価版でもすべての機能が使用できますが、1ヶ月後に指示書印刷、見積り出力、CAD出力ができなくなり、使用申請メールフォームが自動作成されます。

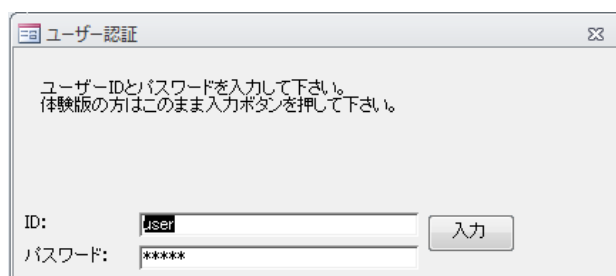
③ DXF形式のCADソフト

職人魂は作った家具データをDXF形式のデータにして出力できます。CAD出力機能を使う場合は、DXFデータを読み込めるCADソフト（AUTOCADやJWCADなど）を用意してください。

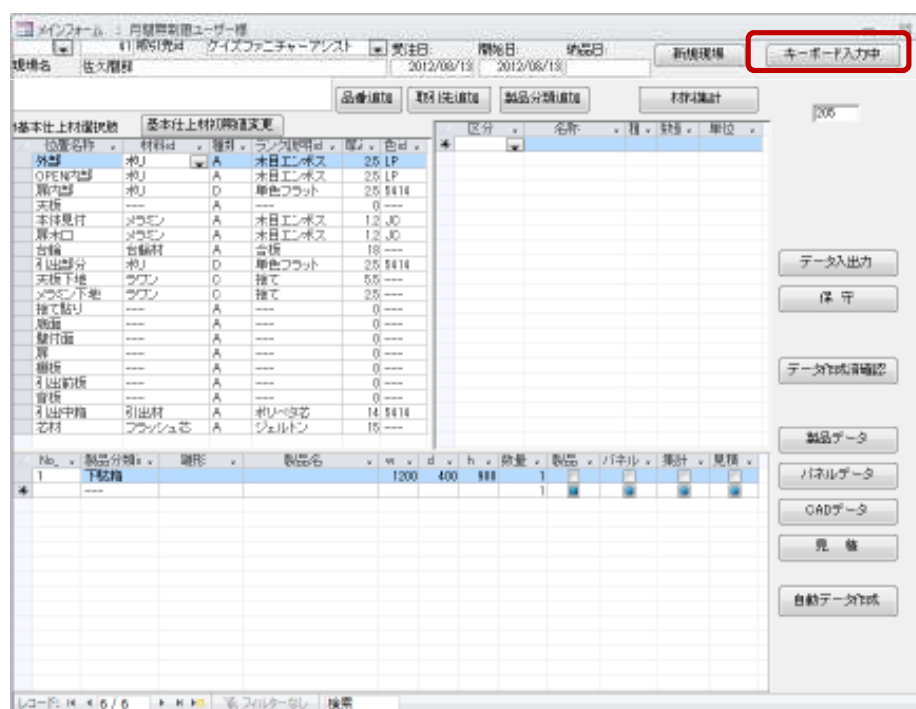
1-3 職人魂を起動させる

ご利用の準備ができましたら、次は職人魂を起動させます。

- 1、解凍した「FS82」ファルダの中の「FS82_nxls120807」をダブルクリックします。
- 2、「ユーザー認証」ウィンドウが表示されます。「入力」ボタンをクリックしてください。この時、IDとパスワードの変更は行わないでください。



- 3、「メインフォーム」画面が表示されます。この時に表示される画面は最後に作成した家具データになります。初めてご利用の場合は、事前に登録したサンプルデータが表示されます。



- 4、数値入力の方法を「キーボード入力中」と「マウステンキー入力中」から選べます。右上のボタンをクリックすると切り替わります。マウステンキー入力にし、数値入力欄をクリックすると画面にテンキーが表示され、クリックだけで数値入力ができるようになります。お好みに合わせて、使い分けてください。

2 家具の基本データを入力する

家具の基本データを入力します。以下の条件に合わせて家具データを作成します。

- 家具データは箱単位でのデータ作成になります。1つの物件で複数の箱に分かれる場合は、箱番号を付けて管理します。
- 家具の寸法は、製作する箱の最大寸法で入力してください。例えば扉が付く場合、ベースの箱ではなくて、扉全面までのD寸法が最大寸法になります。
- 箱単位で仕上や構造が大きく変わる場合は、同一現場であっても別物件としてデータの作成を行ってください。

2-1 物件情報を入力する

2-2 仕上材を選択する

2-3 製品情報とサイズを入力する

2-1 物件情報を入力する

1、「メインフォーム」の「新規現場」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Main Form' window. At the top, there are fields for '取引先' (Customer), '受注日' (Order Date), '開始日' (Start Date), and '納品日' (Delivery Date). The '取引先' field is set to '41 株式会社 ABC'. The '受注日' is '2012/08/13', '開始日' is '2012/08/13', and '納品日' is empty. A red box highlights the '新規現場' (New Site) button. Below these fields are buttons for '品番追加' (Add Item No.), '取引先追加' (Add Customer), '製品分類追加' (Add Product Category), and '材料集計' (Material Summary). The main area contains a table for '基本仕上材' (Basic Finishing Material) with columns for '位置名称' (Location Name), '材料' (Material), '種別' (Type), 'ラング' (Lang), '色' (Color), and '単位' (Unit). The table lists materials like '外壁' (Exterior Wall), 'OPEN内装' (OPEN Interior), '断内装' (Insulation Interior), '床板' (Floor Board), '天井見付' (Ceiling Light), and '天井口' (Ceiling Port).

2、取引先をプルダウンから選びます。登録をしていない取引先に関しては、「取引先追加」ボタンをクリックして登録して下さい。

The screenshot shows the 'Main Form' window. The '取引先' (Customer) field is set to '41 株式会社 ABC'. A red box highlights the '取引先追加' (Add Customer) button. The '新規現場' (New Site) button is also visible. The main area contains a table for '基本仕上材' (Basic Finishing Material) with columns for '位置名称' (Location Name), '材料' (Material), '種別' (Type), 'ラング' (Lang), '色' (Color), and '単位' (Unit). The table lists materials like '外壁' (Exterior Wall), 'OPEN内装' (OPEN Interior), '断内装' (Insulation Interior), '床板' (Floor Board), '天井見付' (Ceiling Light), and '天井口' (Ceiling Port).

3、「現場名」を入力します。すると、初期登録している「基本仕上材」が反映され、家具の製品データの入力が可能になります。

The screenshot shows the 'Main Form' window. The '現場名' (Site Name) field is set to '佐々木組'. A red box highlights this field. The '新規現場' (New Site) button is also visible. The main area contains a table for '基本仕上材' (Basic Finishing Material) with columns for '位置名称' (Location Name), '材料' (Material), '種別' (Type), 'ラング' (Lang), '色' (Color), and '単位' (Unit). The table lists materials like '外壁' (Exterior Wall), 'OPEN内装' (OPEN Interior), '断内装' (Insulation Interior), '床板' (Floor Board), '天井見付' (Ceiling Light), and '天井口' (Ceiling Port).

4、「受注日」「開始日」「納品日」を選択します。

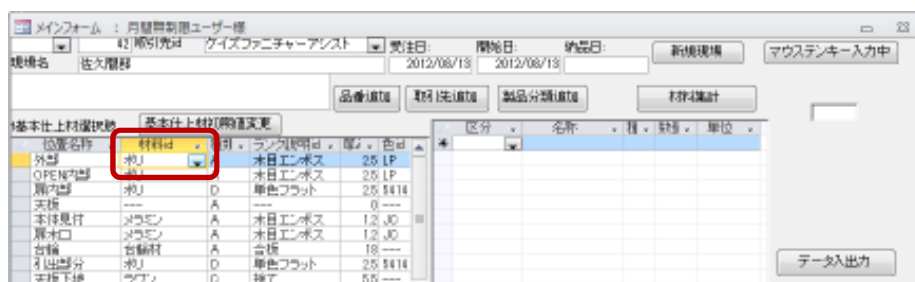
The screenshot shows the 'Main Form' window. The '受注日' (Order Date), '開始日' (Start Date), and '納品日' (Delivery Date) fields are highlighted with a red box. The '受注日' is '2012/08/13', '開始日' is '2012/08/13', and '納品日' is empty. The '新規現場' (New Site) button is also visible. The main area contains a table for '基本仕上材' (Basic Finishing Material) with columns for '位置名称' (Location Name), '材料' (Material), '種別' (Type), 'ラング' (Lang), '色' (Color), and '単位' (Unit). The table lists materials like '外壁' (Exterior Wall), 'OPEN内装' (OPEN Interior), '断内装' (Insulation Interior), '床板' (Floor Board), '天井見付' (Ceiling Light), and '天井口' (Ceiling Port).

以上で、物件情報の入力は終了です。

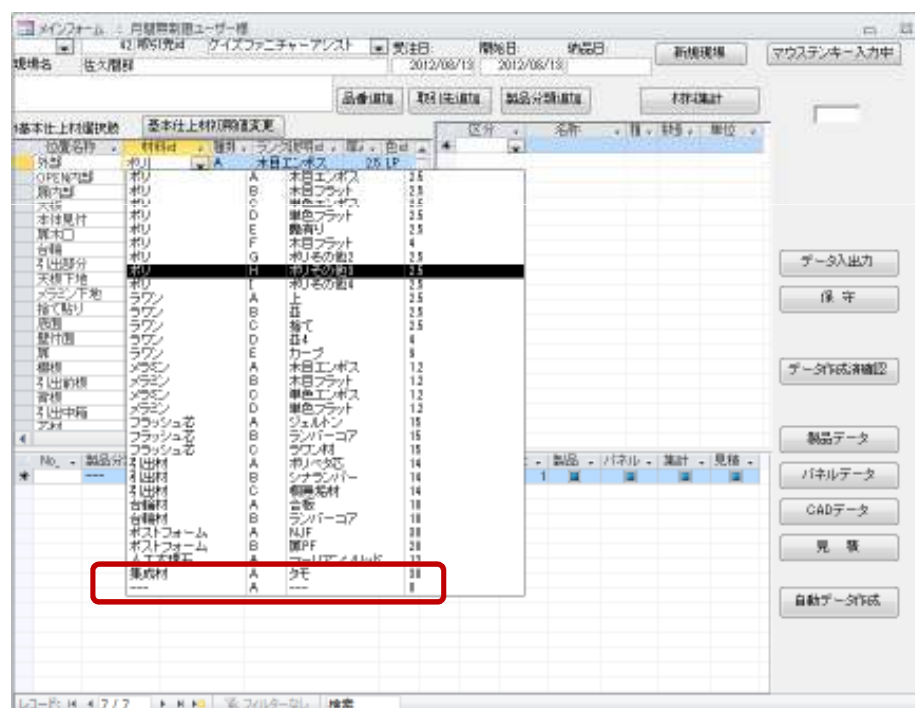
2-2 材料の選択をする

家具に使用する化粧板や芯材を選択します。事前に登録した材料からの選択になります。材料の登録に関しては、「7 初期値編集」をご覧ください。

- 1、「材料id」欄のプルダウンをクリックします。



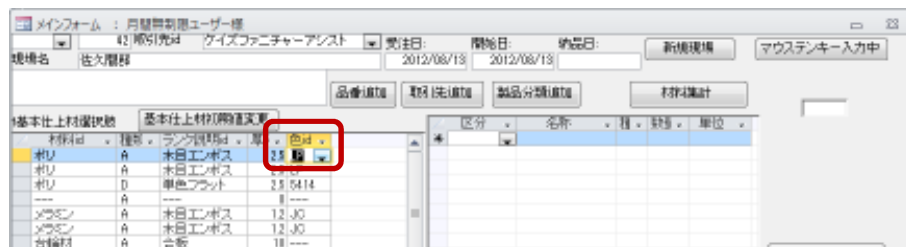
- 2、登録された選択肢の一覧の中から使用する材料を選び、クリックします。



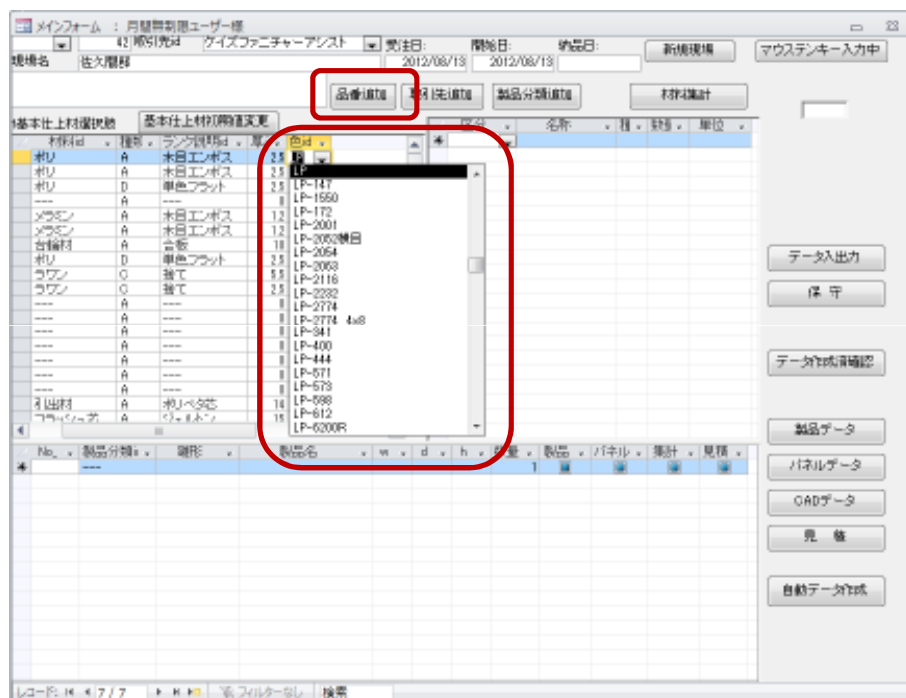
とくに指定がない場合は、選択項目の中の「---」を選んでください。自動的に適材が選択されます。

細かい設定方法は、「7 初期値編集」をご覧ください。

3、「色id」欄をクリックします。



4、使用する材料の品番や名称をプルダウンから選択します。登録していない品番や名称は、「品番追加」ボタンをクリックし、登録して下さい。



「材料id」と「色id」は連動していません。材料で単色ポリを選んでも、品番で木目を選んでしまうケースがありますので、ご注意ください。

以上で材料の選択は終了です。

2-3 製品情報とサイズを入力する

製品情報とサイズを入力します。すべて箱単位での入力になります。

- 1、製作する家具の箱ごとに番号を付け、「No.」の項目に番号を入力します。
- 2、「製品分類」を選びます。登録をしていない製品分類に関しては、「製品分類追加」ボタンをクリックして登録します。
- 3、「製品名」を入力します。階数や棟名、家具の部位名などの管理しやすい名称を入力してください。
- 4、製作する家具の「w」「d」「h」「数量」を入れます。

No.	製品分類	製品名	w	d	h	数量	製品	パネル	集計	見種
1	上段箱	右側	900	400	1800	1				
2			0	0		1				

なお、初期の段階では「雛形」欄は使用しませんので空白にしてください。

同物件で違うサイズの箱がある場合は、2列目以降に同様の形で入力してください。

以上で家具の基本データ入力は終了です。

3 家具の詳細データを入力する

ここでは、前項で作った家具の基本データを元に細かい構造の設定を行い、扉などの可動部品を付け加えていきます。

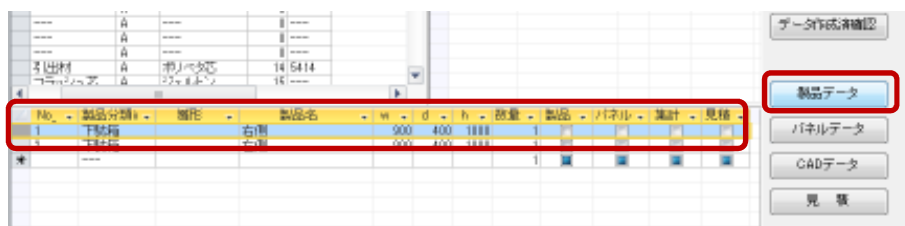
3-1 構造データを編集する

3-2 可動部品データを編集する

3-1 構造データを編集する

前項で作った家具データを元に細かい設定を行います。入力内容によって芯の位置が変わりますので、正確に入力してください。

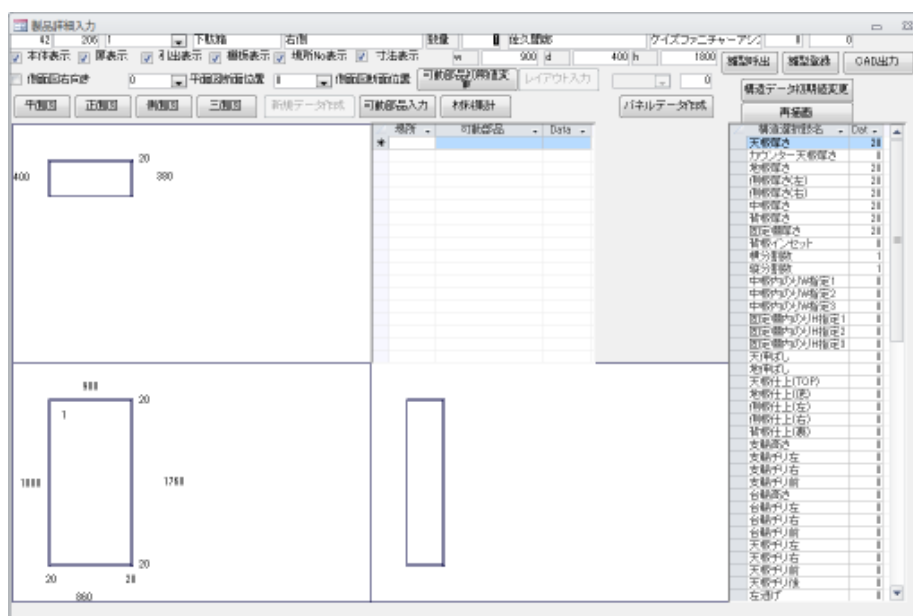
1、「メインフォーム」画面で編集する家具データをクリックして選択し、「製品データ」ボタンをクリックします。



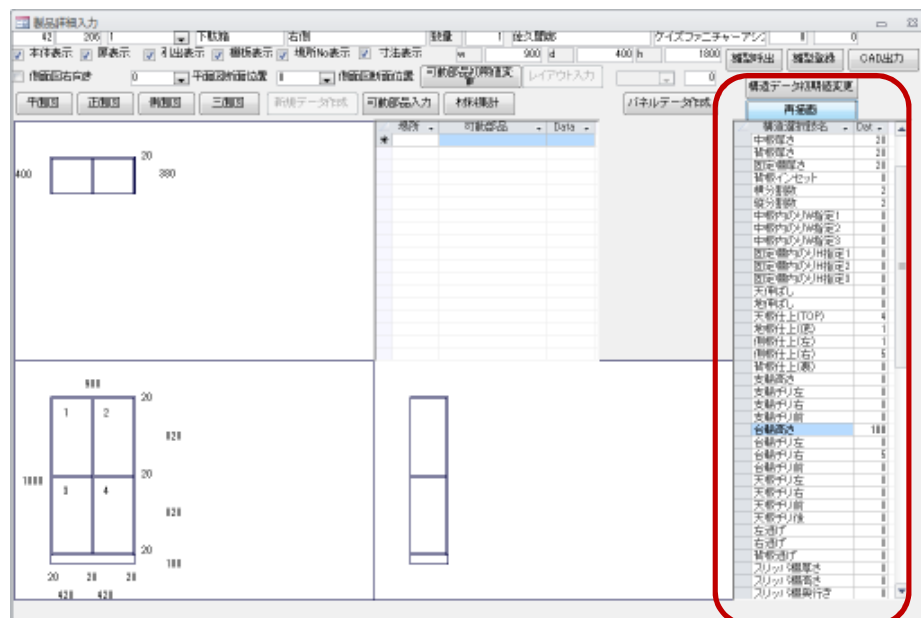
2、「製品詳細入力」画面に切り替わりましたら、「新規データ作成」ボタンをクリックします。



3、家具データが表示されます。ここで表示される家具データは登録された構造データをベースに作成されます。構造データ初期値の設定に関しては、「7 初期値編集」をご覧ください。



4、画面右側の構造データ入力欄に数値を入力し、家具データを編集します。入力欄をクリックすると、選択肢が表示される部分もございます。各項目の詳細は「7 初期値編集」をご覧ください。



5、数値の入力が終わりましたら、「再描画」ボタンをクリックし、家具データに反映させてください。

すると、上記のような数値を反映した三面図が出来上がります。

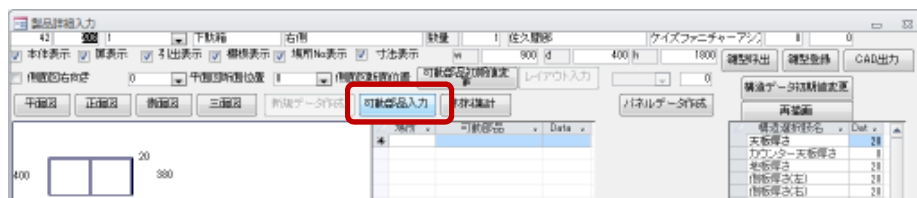
以上で、家具の構造データ編集は終了となります。

但し、扉など可動部品データを入力すると、寸法が変わる箇所が出てきますので、ご注意ください。

3-2 可動部品データを編集する

編集した家具の構造データに可動部品を加えていきます。可動部品の有無により根太の入る位置が変わる場合がありますので、正確に入力してください。

1、「可動部品入力」ボタンをクリックします。

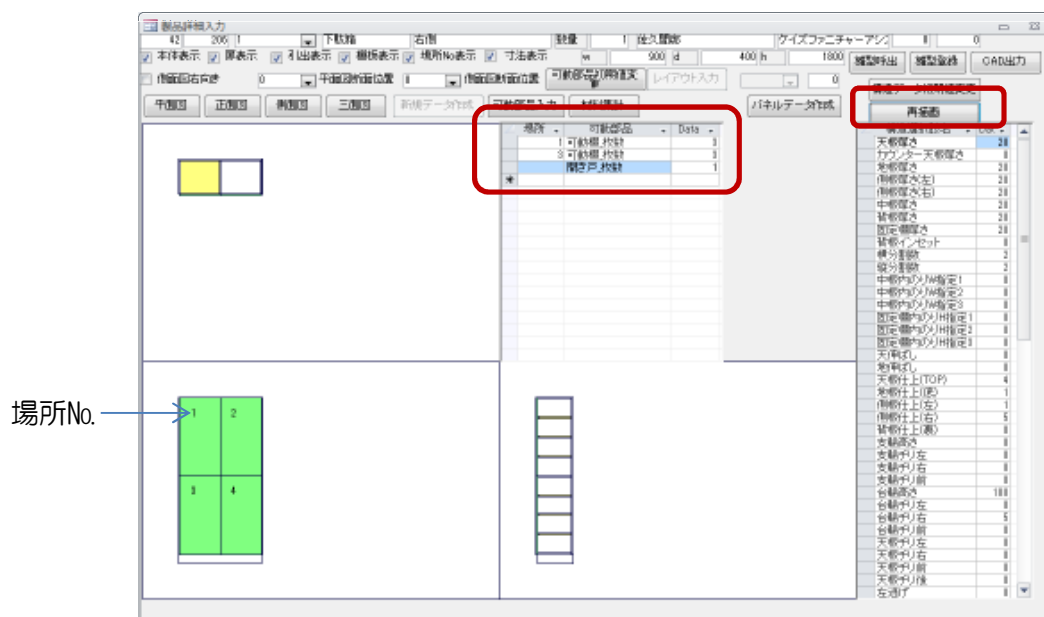


2、「場所」欄に場所No.を入力します。この時、全部の空間で同様の設定をする場合は、「場所」に数値を入れず、空欄にしてください。

3、「可動部品」をプルダウンから選択します。各項目の説明については、「7 初期値編集」をご覧ください。

4、数量を入力します。この場合の数量とは、「場所」の1つの空間に対しての個数になります。

5、「再描画」ボタンをクリックしデータを反映させます。



以上で家具の詳細データ入力は終了となります。

また、三面図の表示は左上のチェックボックスで変更することができます。詳細を確認する際に使用してください。

4 パネルデータを作成する

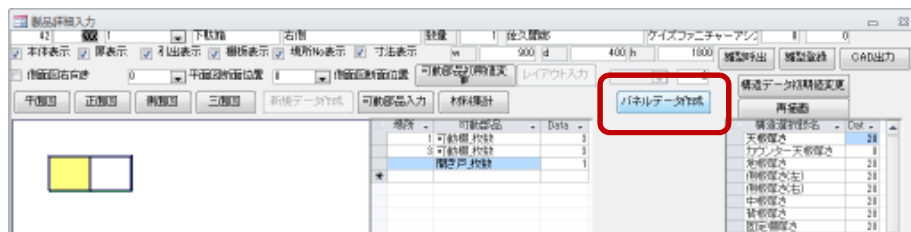
家具データの作成が終わりましたら、パネルデータ作成に移ります。

- 4-1 パネルデータを作成する
- 4-2 パネルデータを修正する
- 4-3 パネルデータを追加する

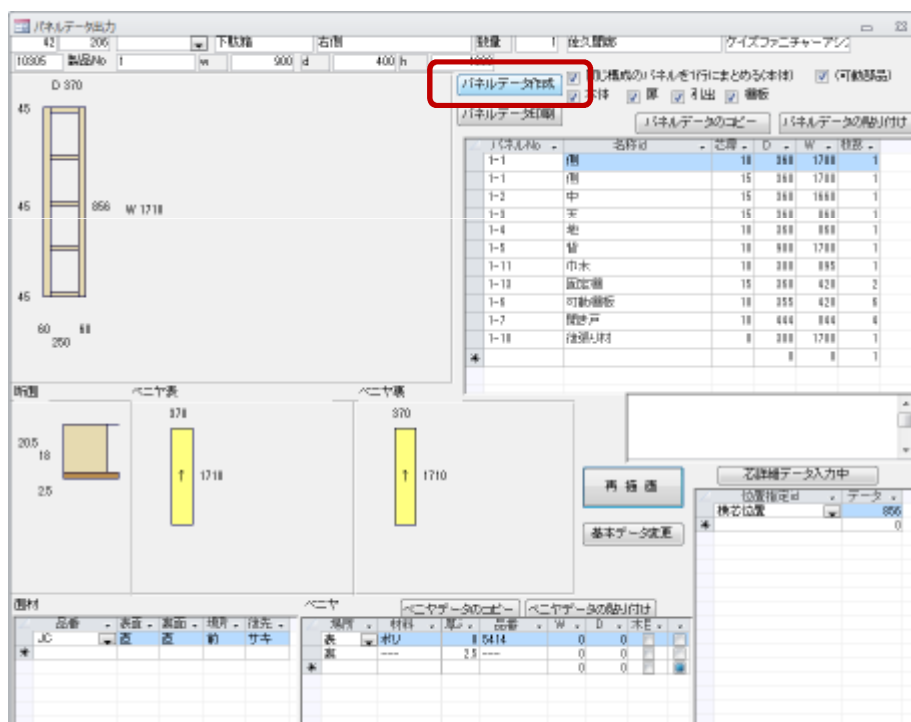
4-1 パネルデータを作成する

前項で作成した家具データを元に、今度はフラッシュパネルデータを作成します。

1、「製品詳細入力」画面の「パネルデータ作成」ボタンをクリックします。すると「パネルデータ出力」画面に切り替わります。

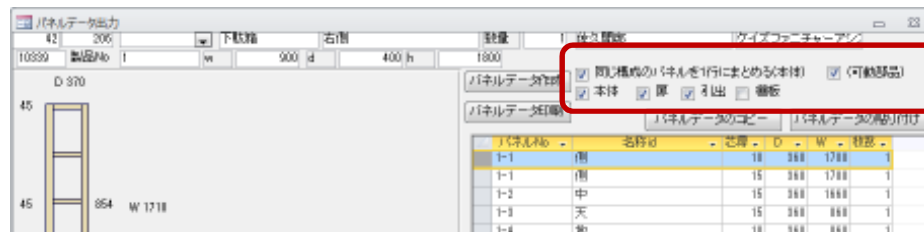


2、画面が切り替わりましたら、再度「パネルデータ作成」ボタンをクリックします。このボタンを、クリックしてはじめてパネルデータが作成されます。構造データや可動部品データを修正した場合においても、このボタンをクリックすることでパネルデータに反映します。



登録された芯幅などのデータを元に、フラッシュパネルの芯組み図が作成されます。登録データの編集は「7 初期値編集」をご覧ください。

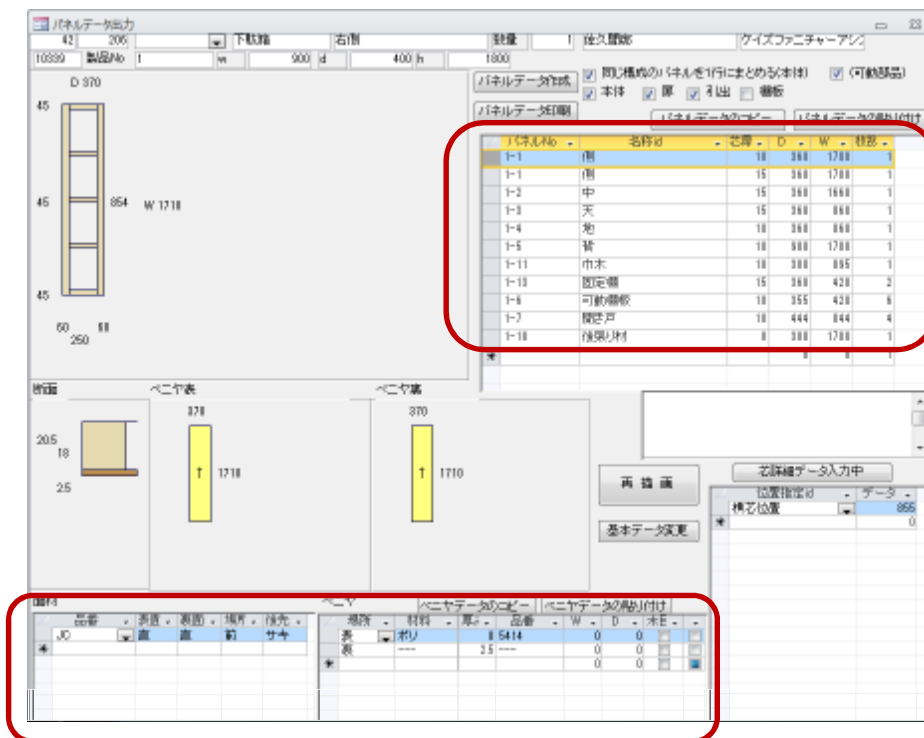
4、右上のチェックボックスをクリックし、不要なパネルデータのチェックを外し、必要な部位だけ選択します。



5、再度「パネルデータ作成」ボタンをクリックします。これでパネルデータの作成は終了です。

4-2 パネルデータを修正する

作成したパネルデータは個別に編集が可能です。寸法や化粧板を変更すれば、新しい指示書が作られます。必要に合わせて修正を加えてください。



1、芯材の厚みを変更します。芯材の厚みは1mm未満は切り捨てられるので、既存の芯材の厚み（t12、t15、t18など）にならない場合があります。その場合は、近い厚みをプルダウンから選択し調整してください。

2、パネルの寸法を変更します。パネル図の縦寸法をW、横寸法をDで表示しています。

3、枚数を変更します。

4、面材（木口材）の変更をします。

「品番」 面材の品番を変更する場合に使用。

「表面」 トリマーの角度指示に使用。「直・60・45・トメ」の中から選択する。

「裏面」 トリマーの角度指示に使用。「直・60・45・トメ」の中から選択する。

「場所」 木口材を貼る場所の指示に使用。「前・後・上・下」の中から選択する。

「後先」 木口材を貼る順序の指示に使用。「アト・サキ」の中から選択する。

「アト」・・・パネルを組んだ後に貼る

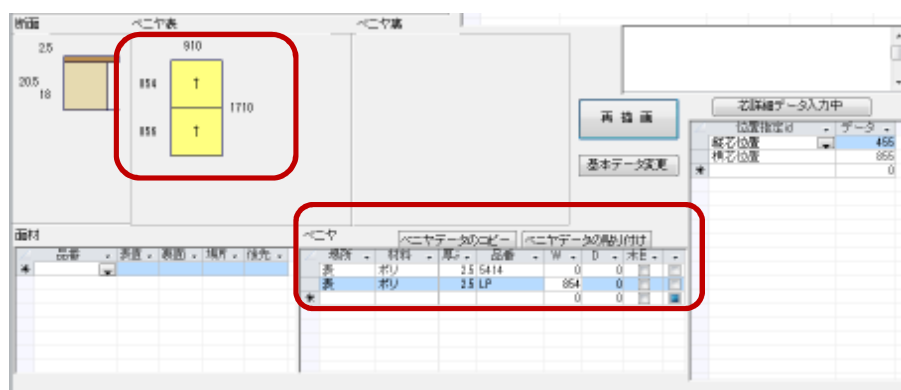
「サキ」・・・パネルを組む前に貼る

5、ベニヤを変更します。

- 「場所」 ベニヤを貼る場所が表示されます。（表・裏・下地表・下地裏）
- 「材料」 設定している材料の種類が表示されます。
- 「種類」 指定した材料の種類が表示されます。
- 「厚み」 設定している材料の厚みが表示されます。部分的にベニヤの厚みが変わる場合は、こちらで変更してください。
- 「品番」 設定している品番が表示されます。一部だけ柄が変わるような場合は、こちらで変更してください。
- 「W」 縦方向のベニヤの貼り分けに使用します。
- 「D」 横方向のベニヤの貼り分けに使用します。
- 「木目」 柄方向を横にする場合は、ここにチェックを入れてください。
通常は縦方向で指示書が作成されます。
- 「無地」 無地の場合はここにチェックを入れてください。

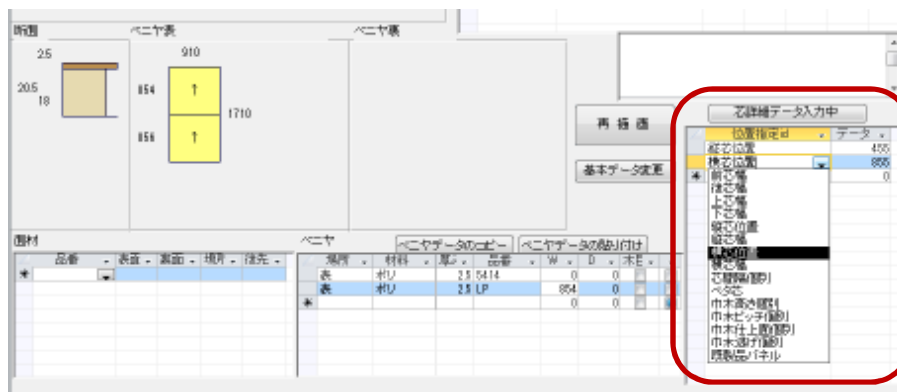
ベニヤ貼り分けの指示方法

- ①最初に貼り分けるベニヤの枚数分のベニヤデータを作成します。すでに作成されているベニヤデータを選択し、「ベニヤデータのコピー」ボタンをクリックします。その後、「ベニヤデータの貼り付け」ボタンをクリックすると新しいデータが作成されます。この時、ベニヤの表裏に注意して下さい。
- ②貼り分けに合わせて、場所・材料・品番・柄方向などを変更します。この時、厚みなど材料のずれがあると、正しく表示されません。
- ③ベニヤのジョイント位置を2つ目以降のベニヤデータの「W」もしくは「D」に入力します。この時に、必ず「W」「D」の一方は「0」になるようにして下さい。



- ④入力後、「再描画」ボタンをクリックするとパネルデータに反映されます。
※現状、一方向の貼り分けしか対応できませんのでご注意ください。

6、芯位置、芯巾を変更します。



初期設定に基づいて現状の芯位置の数値（外周以外の位置指定があるものののみ）が表示されます。状況に合わせて追加・変更してください。「位置指定id」のプルダウンで選択し、「データ」欄に数値を入力します。ここでの変更はパネル毎の変更になります。ご注意ください。

「位置指定id」

- ・前芯幅 前芯の幅を変更する場合に使用します。
- ・後芯幅 後芯の幅を変更する場合に使用します。
- ・上芯幅 上芯の幅を変更する場合に使用します。
- ・下芯幅 下芯の幅を変更する場合に使用します。
- ・縦芯位置 縦芯の位置を指定します。
- ・縦芯幅 縦芯の幅を変更する場合に使用します。
- ・横芯位置 横芯の位置を指定します。
- ・横芯幅 横芯の巾を変更する場合に使用します。
- ・芯間隔個別 自動で入る補強芯のピッチを変更する場合に使用します。
- ・ベタ芯 ベタ芯に変更する場合に選択します。数値入力はありません。

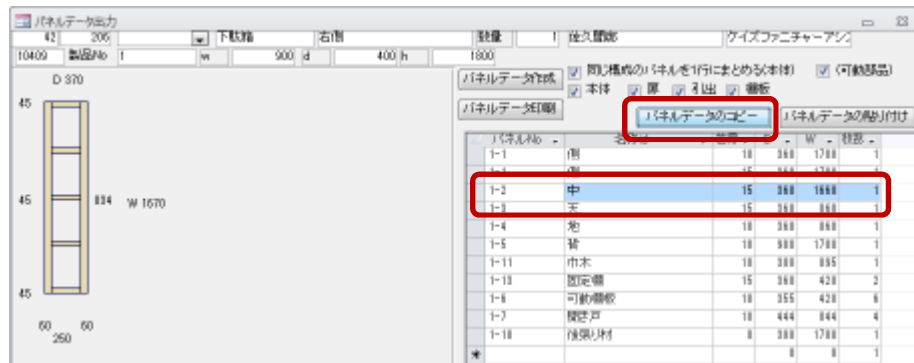
※芯位置指定を追加で行う場合、自動で入る補強芯が消える場合があります。ご注意ください。

7、すべての修正が終わりましたら、「再描画」ボタンをクリックして反映させてください。この時に、「パネルデータ作成」をクリックしてしまうと、最初のパネルデータに戻ってしまいますので、その場合は最初から登録し直してください。これでパネルデータの修正は終了です。

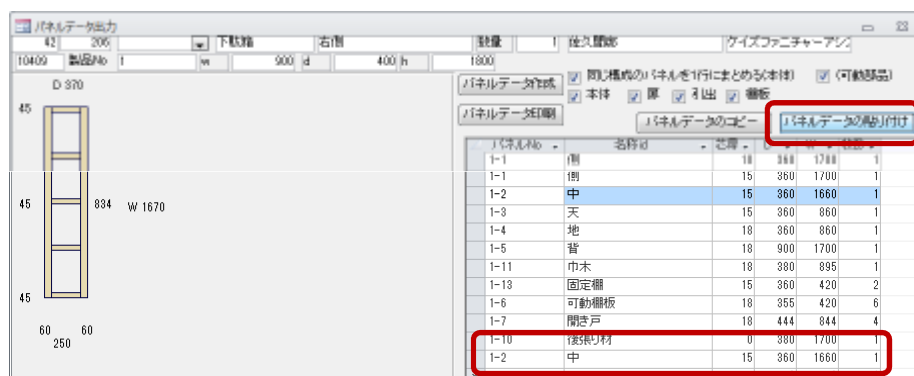
4-3 パネルデータを追加する

必要に応じて、パネルデータを追加することができます。

- 1、追加したいパネルデータを選択し、「パネルデータのコピー」ボタンをクリックします。



- 2、次に「パネルデータの貼り付け」ボタンをクリックします。すると、パネルデータ欄の一番下に追加されます。



- 3、必要に応じてパネル寸法、材料等を修正します。
- 4、修正が終わったら、「再描画」ボタンをクリックし、データを反映させます。ここで、「パネルデータ作成」ボタンをクリックしてしまうと最初のデータに戻ってしまいます。

パネルデータの追加は「パネルデータの貼り付け」を使わずに、手入力でおこなうこともできます。その場合、芯の位置や巾などすべて選択しなければいけませんので、コピーを使う方法をおすすめします。

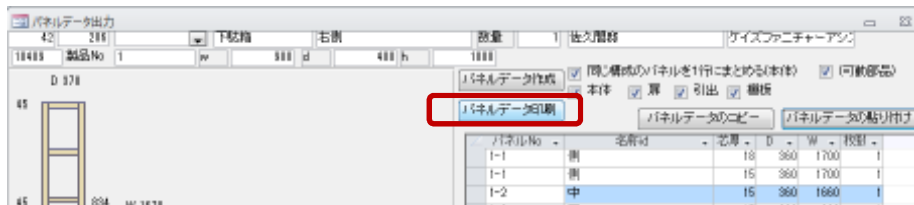
5 作業指示書を出力する

「パネルデータの作成」が終わりましたら、今度は作業指示書を出力します。これを活用すれば、経験の浅い方に作業を任せることができます。作業に必要な部分だけを出力し使用してください。

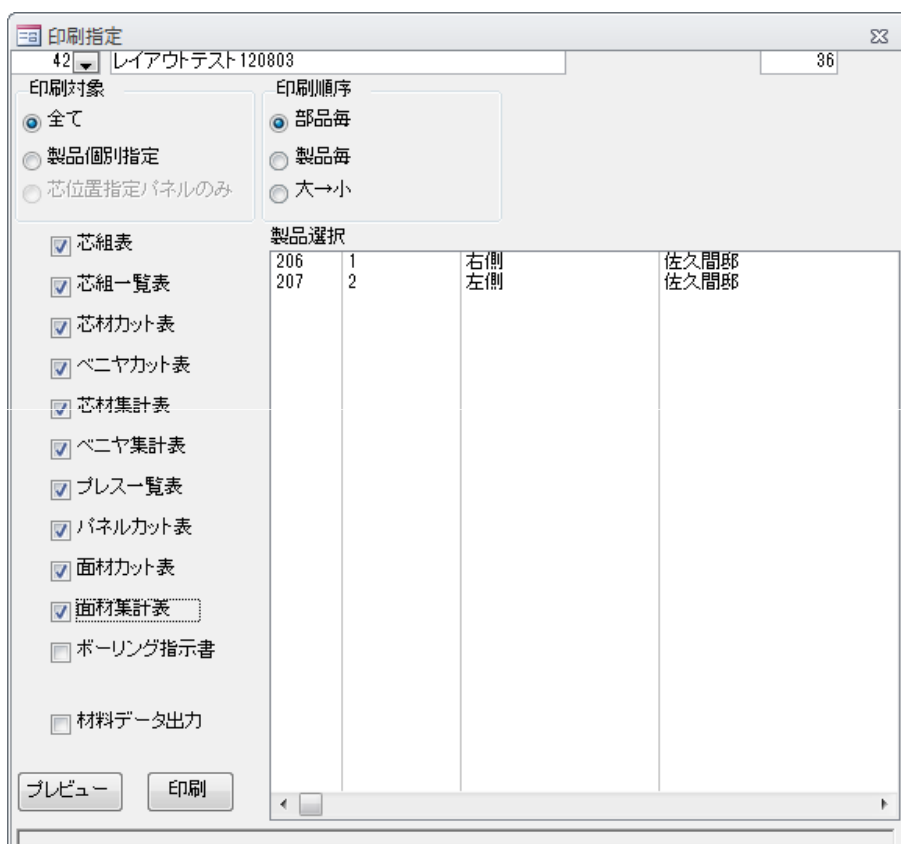
5-1 作業指示書を出力する

5-1 作業指示書を出力する

1、「パネルデータ作成」画面から、「パネルデータ印刷」ボタンをクリックします。



2、「印刷指定」画面が表示されましたら、必要な項目にチェックを入れます。



「印刷対象」

- ・全て 当物件の全ての家具の指示書を印刷します
- ・製品個別指定 「製品選択」欄でクリック選択したもののみ印刷します。

「印刷順序」

- ・部品毎 天板、地板といったパーツ毎にまとめて指示書を印刷します。
- ・製品毎 製品（箱）ごとに並び変えて印刷します。
- ・大→小 大きなパネルから順に並び変えて印刷します。

「指示書選択」

工場の状況に合わせて、選択できるように１０種類の作業指示書を用意しています。必要なものだけ選択してご使用ください。

・ 芯組表	芯組みの作業指示書
・ 芯組一覧表	芯組み寸法の一覧表。
・ 芯材カット表	芯材のカット寸法の一覧表。
・ ベニヤカット表	ベニヤのカット寸法の一覧表
・ 芯材集計表	芯材の総使用量の集計表。
・ ベニヤ集計表	ベニヤの総使用量の集計表
・ プレス一覧表	プレス時に使うパネル一覧表
・ パネルカット表	フラッシュパネルのカット寸法表
・ 面材カット表	面材のカット寸法の一覧表
・ 面材集計表	面材の総使用量の一覧表

※ボーリング指示書は現在使用できません。今後、追加予定です。

※材料データ出力は現在使いません。

３、「印刷」ボタンをクリックすると、選択した指示書が印刷されます。指示書の内容を確認したい方は、「プレビュー」ボタンをクリックして確認できます。

以上で指示書の印刷は終了です。

6 その他の機能

「職人魂」には、メインの芯組作業指示書作成機能の他に、見積り機能、雛型登録機能、CAD出力機能といった便利な機能があります。これらの機能を使いこなせば、更なる業務の効率化が図れます。

6-1 見積り機能

6-2 雛型登録機能

・・・現在改訂中

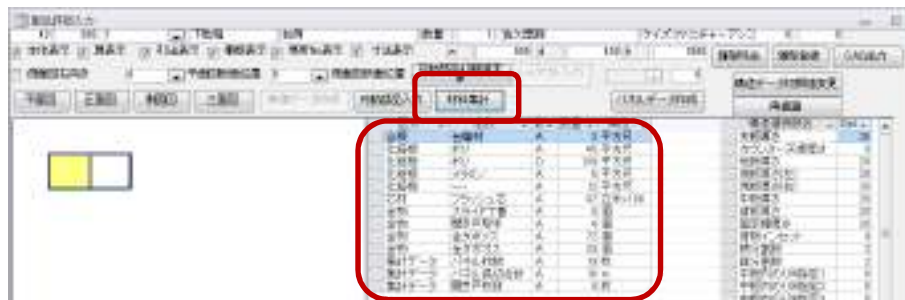
6-3 CAD出力機能

6-1 見積り機能

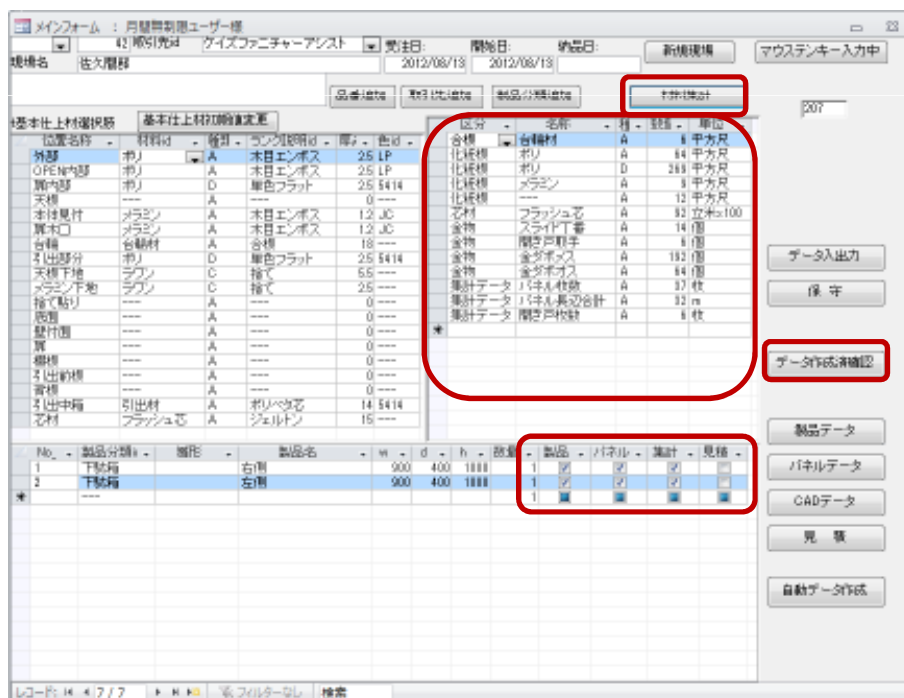
「職人魂」には、原価計算を行う機能も付いています。見積り業務の目安として使用できます。

1、パネルデータの作成までを通常通り行います。

2、パネルデータの作成が終わりましたら、「製品詳細」画面に戻り、「材料集計」ボタンをクリックします。すると、使用材料の詳細が表示されます。



3、「材料集計」ができましたら、「メインフォーム」画面に戻り、この画面の「材料集計」ボタンをクリックします。すると全ての箱の集計が合計されて表示されます。



この時に、パネルデータを作っていない箱があると、正しく集計されません。データ作成の進捗を確認するには、中央右側の「データ作成済確認」ボタンをクリックしてください。作業の進んだところまでのチェックがつかます。

4、材料の集計が終了しましたら、「見積り」ボタンをクリックします。

The screenshot shows a software interface for material collection. At the top, there are fields for '引出材' (Extracted Material) and '引出材' (Extracted Material). Below this is a table with columns: No., 製品分類 (Product Classification), 図形 (Diagram), 製品名 (Product Name), w, d, h, 数量 (Quantity), 製品 (Product), パネル (Panel), 集計 (Summary), and 見積 (Estimate). The table contains two rows of data. To the right of the table is a vertical panel with buttons: '製品データ' (Product Data), 'パネルデータ' (Panel Data), 'CADデータ' (CAD Data), '見積' (Estimate), and '自動データ作成' (Automatic Data Creation). The '見積' button is highlighted with a red rectangle.

5、「見積り」画面が表示されましたら、「積算」ボタンをクリックしてください。選択されている家具データの見積明細が表示されます。

The screenshot shows the '見積り' (Estimate) screen. At the top, there are fields for '見積り名' (Estimate Name), '受注日' (Order Date), '納品日' (Delivery Date), and '見積合計金額' (Total Estimate Amount). Below this is a table with columns: No., 製品分類 (Product Classification), 図形 (Diagram), 製品名 (Product Name), w, d, h, 数量 (Quantity), and 見積 (Estimate). The table contains two rows of data. To the right of the table is a vertical panel with buttons: '印刷' (Print), 'エクセルへ出力' (Output to Excel), '積算' (Calculation), and '再計算' (Recalculate). The '積算' button is highlighted with a red rectangle. Below the table is a section titled '見積明細' (Estimate Details) with columns: 区分 (Division), 品名 (Product Name), 種類 (Type), 内容 (Content), 数量 (Quantity), 単位 (Unit), 単価 (Unit Price), and 金額 (Amount). This section contains a detailed list of materials and their costs.

最後に小数点以下のベニヤの枚数を最小ロットに直し、足りない明細を追加し、「再計算」ボタンをクリックします。

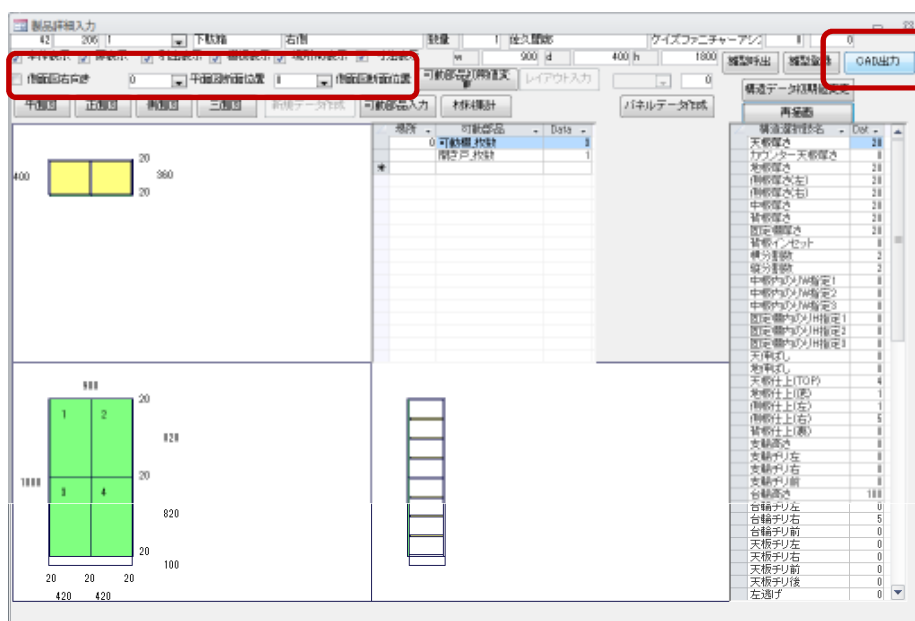
以上で見積は終了です。

※現在「印刷」「エクセルへ出力」ボタンは使えません。

6-3 CAD出力機能

「製品詳細入力」画面で作成した三面図をDXF形式のCADデータとして出力することができます。お持ちのCADソフトに貼り付けて、寸法を入れれば簡単な家具図面が出来上がります。

- 1、「製品詳細入力」画面で家具データを作成します。
- 2、必要な断面の位置を選択し、「三面図」もしくは「再描画」ボタンをクリックし確認します。



- 4、確認ができれば、「CAD出力」タブをクリックします。
- 5、「Cadデータ出力」画面が出てきますので、ファイル名や縮尺・用紙サイズなどの設定をしてください。設定が終わったら、「Cadデータ出力」タブをクリックしてください。



- 6、「職人魂」のソフトが入っているフォルダ内にDXFデータが作成されますので、お手持ちのCADソフトで開き、使用してください。

7 初期値編集

家具データの初期値を編集します。初期値とは、新規の家具データを作るとき反映される数値になります。工場の状況に合わせてカスタマイズして下さい。

7-1 保守 ※現在、無料評価版ではご利用できません。ご注意ください。

7-2 製品構造データ初期値編集

7-3 可動部品データ初期値編集

7-4 パネルデータ初期値編集

7-5 基本仕上材データ初期値編集

7-6 単価データ編集

7-7 その他の編集

7-1 保守画面

※現在、無料評価版ではご利用できません。ご注意ください。

各データの初期値編集は、「保守」画面、もしくは各画面の編集ボタンから編集することが可能です。ここでは、「保守」画面の説明をいたします。

1、「メインフォーム」画面の「保守」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Main Form' window with various data entry fields and buttons. The '保守' button is located on the right side, below the 'データ入力' button, and is highlighted with a red rectangle.

2、「保守」画面が表示されます。編集したい項目のボタンをクリックして数値の変更をして下さい。

The screenshot shows the 'Maintenance' window with a list of data items on the left and a column of edit buttons on the right. The button for '製品構造データ初期値編集' is highlighted with a red rectangle.

※「データバックアップ」「データ読み込み」「雛形データ編集」「メール送信」「使用説明書を開く」「初期化」「---」は使用しないでください。

7-2 製品構造データ初期値編集

構造データの初期値を編集します。構造データ初期値の編集は、「保守」画面か、「製品詳細入力」画面の「製品データ初期値変更」ボタンから編集することができます。「Data」欄の数値を任意の数値に変更して下さい。

構造選択肢名	Data
天板厚さ	厚みを入力 ※使用しない場合は、「0」を入力してください。
カウンター天板厚さ	
地板厚さ	
側板厚さ(左)	
側板厚さ(右)	
中板厚さ	
背板厚さ	
固定棚厚さ	
開き戸厚さ	
背板インセット	背板をインセットにする場合は、「1」を入力 背板をインセットにしない場合は、「0」を入力 ※背板インセットとは、背板パネルを天板・地板・側板で囲む組み方のこと。
横分割数	1つの箱に対して中板で仕切る分割数。「1」以上の数値を入力。
縦分割数	1つの箱に対して固定棚で仕切る分割数。「1」以上の数値を入力。
中板内のりW指定1	横分割でできた左から1列目の内のり寸法
中板内のりW指定2	横分割でできた左から2列目の内のり寸法
中板内のりW指定3	横分割でできた左から3列目の内のり寸法
	※均等割の時は、全てに「0」を入力
固定棚内のりH指定1	縦分割でできた上から1段目の内のり寸法
固定棚内のりH指定2	縦分割でできた上から2段目の内のり寸法
固定棚内のりH指定3	縦分割でできた上から3段目の内のり寸法
	※均等割の時は、全てに「0」を入力
天伸ばし	天板を天板勝ちにする場合は、「1」を入力 天板を側板勝ちにする場合は、「0」を入力
地伸ばし	地板を地板勝ちにする場合は、「1」を入力 地板を側板勝ちにする場合は、「0」を入力
天板仕上(TOP)	「0～5」の数値をパネルの仕上げに合わせて入力
地板仕上(底)	「0」仕上なし フラッシュ芯のまま
側板仕上(左)	「1」捨てベニヤ
側板仕上(右)	「2」下地ラワンフラッシュ メラミン貼り
背板仕上(裏)	「3」下地ベタ芯 メラミン貼り
開き戸仕上	「4」化粧板先貼り 「5」化粧板後貼り ※入力欄をダブルクリックすると選択画面が表示されます。
後ろベニヤ伸ばし	後貼り材のベニヤを家具本体より伸ばす場合、伸ばす寸法を入力
シリン高さ	高さを入力
シリンチリ左	本体の箱と支輪の寸法差を入力
シリンチリ右	
シリンチリ前	
巾木高さ	高さを入力
巾木チリ左	本体の箱と巾木の寸法差を入力
巾木チリ右	
巾木チリ前	
天板チリ左	本体の箱と天板の寸法差を入力
天板チリ右	
天板チリ前	
天板チリ後	
カウンター天板チリ左	※この項目は作成中です。 本体の箱とカウンター天板の寸法差を入力
カウンター天板チリ右	
カウンター天板チリ前	
カウンター天板チリ後	
左逃げ	壁から逃げる寸法を入力
右逃げ	※サイドに壁がない場合は使いません。
背板逃げ	
スリッパ棚厚さ	厚さを入力
スリッパ棚高さ	天板下からスリッパ棚上までの内法を入力
スリッパ棚奥行き	奥行を入力

7-3 可動部品データ初期値編集

可動部品データの初期値を編集します。可動部品データ初期値の編集は、「保守」画面か、「製品詳細入力」画面の「可動部品初期値変更」ボタンから編集することができます。「Data」欄の数値を任意の数値に変更して下さい。

部品構造選択肢名	Data
固定縦仕切枚数	1つの「場所No.」内で、縦仕切りを追加する場合に枚数を入力します。「固定縦仕切内のみ」項目が「0」になっていると、自動で均等割になります。
固定縦仕切厚さ	厚みを入力
固定縦仕切内のみ	縦仕切りを入れた場合の内法を入力。仕切りをはさんで左側の空間の内法になります。2つ以上の縦仕切りが入る場合は、使用できません。
可動棚枚数	可動棚の枚数を入力。「可動棚高さ」項目が「0」になっている場合は、自動で均等割になります。
可動棚厚さ	厚みを入力
可動棚高さ	可動棚の底板からの位置を指定する場合に使用。2枚以上可動棚がある場合は、1枚のみ指定でき、残りは均等割になります。
可動棚ダボジャクリ	※現在機能しておりません。「0」を入力してください。
固定棚枚数	1つの「場所No.」内で、固定棚を追加する場合に使用。枚数を入力します。「固定棚高さ」項目が「0」になっていると、自動で均等割になります。
固定棚厚さ	厚みを入力
固定棚高さ	固定棚の底板からの位置を指定する場合に使用。2枚以上固定棚がある場合は、1枚のみ指定でき、残りは均等割になります。
金ダボピッチ	金ダボのピッチを入力。
金ダボ上下個数	可動棚1枚に対し、上下に入れる金ダボの個数を入力。
金ダボ前距離	金ダボのパネル前からの距離を入力。指定の位置に合わせて、自動的に芯が追加されます。
金ダボ後距離	金ダボのパネル後からの距離を入力。背板をインセットにする場合は、背板の厚みも足してください。
金ダボ下距離	※現在機能しておりません。「0」を入力してください。
開き戸厚さ	厚みを入力
開き戸枚数	枚数を入力
開き戸吊元左0右1	※現在機能しておりません。「0」を入力してください。
開き戸全カブセ	カブセ量を入力。
開き戸半カブセ	
開き戸上カブセ	
開き戸下カブセ	
開き戸蝶番高さ	※現在機能しておりません。「100」を入力してください。
手じゃくりスカシ	スカシの寸法を入力。
開き戸インセット	開き戸をインセットにする場合は、「1」を入力。
開き戸インセット戸厚	厚みを入力
開き戸左カブセ	※現在機能しておりません。「0」を入力してください。
開き戸右カブセ	
開き戸インセット上	
開き戸インセット下	
開き戸インセット左	
開き戸インセット右	
引出個数	引き出しの個数を入力
引出前板上カブセ	カブセ量を入力。
引出前板端カブセ	
引出前板中カブセ	
引出前板下カブセ	
引出中箱厚さ	厚みを入力
引出中箱高さ逃げ	箱の内法の高さ方向に対しての逃げ寸法を入力。
引出レール厚さ	スライドレールの厚みを入力。
引出仕切厚さ	引き出しが並ぶ場合の間の仕切りの厚みを入力。
引出縦積	1つの「場所No.」内で、引き出しを縦に並べる場合は、「1」を入力。「0」を入力すると、横に並びます。
引出インセット	引き出しをインセットにする場合は、「1」を入力。
引戸枚数	枚数を入力。
引戸レール	※現在機能しておりません。「0」を入力してください。
引戸重なり	引き戸の重なる部分を寸法を入力。
引戸厚さ	厚みを入力
引戸前チリ	引き戸の前チリの寸法を入力
引戸間スカシ	引き戸同士の間隔の距離を入力

7-4 パネルデータ初期値編集

パネルデータの初期値を編集します。パネルデータ初期値の編集は、「保守」画面か、「パネルデータ出力」画面の「基本データ変更」ボタンから編集することができます。「Data」欄の数値を任意の数値に変更して下さい。

name	data
切りしろ	フラッシュパネルの切りしろ寸法
芯巾基本	固定棚などの根太の芯巾
芯巾 その他	補強芯の巾
芯巾 側中 前	側板と中板の芯巾 ※ダボ穴用の根太はダボ穴位置により自動で入ります。
芯巾 側中 後	
芯巾 側中 上	
芯巾 側中 下	
芯巾 天地 前	天板と地板の芯巾
芯巾 天地 後	
芯巾 天地 上	
芯巾 天地 下	
芯巾 棚 前	固定棚と可動棚の芯巾
芯巾 棚 後	
芯巾 棚 上	
芯巾 棚 下	
芯巾 背 前	背板の芯巾
芯巾 背 後	
芯巾 背 上	
芯巾 背 下	
芯巾 扉 前	扉の芯巾 ※後付けソフトクローズダンパー用の根太は2箇所自動で入ります。
芯巾 扉 後	
芯巾 扉 上	
芯巾 扉 下	
芯間隔	補強芯の間隔
巾木材厚み	巾木材の厚みを入力
巾木ピッチ	巾木の中板のピッチ間隔
巾木仕上面数	面数によって巾木形状が変わります
巾木逃げ	巾木の逃げ寸法
面材チリ	木口に貼る面材のチリ
面材伸ばし	木口に貼る面材のカット寸法の伸ばし
BRG最小ピッチ	使用しません ※ダボボーリング表示機能は現在製作中です。
BRG最大ピッチ	
BRG前残し	
BRG後残し	
BRG木ダボ径	
BRG金ダボ径	

7-5 基本仕上材データ初期値変更

基本仕上材データの初期値を編集します。基本仕上材データ初期値の編集は、「保守」画面か、「メインフォーム」画面の「基本仕上材初期値変更」ボタンから編集することができます。

「位置名称」

外部	家具の外側の仕上材
OPEN内部	扉や引出がつかない内部の仕上材
扉内部	扉の内部の仕上材
天板	カウンター天板の仕上材
本体見付	家具本体の見付に貼る仕上材
扉木口	扉木口に貼る仕上材
台輪	台輪に使う材料
引出部分	引出が入る部分の内部の仕上材
天板下地	家具の天板をメラミンにする場合の下地材
メラミン下地	家具の仕上をメラミンにする場合の下地材
捨て貼り	家具の見えない部分に貼るベニヤ
底面	家具の底面に貼るベニヤ
壁付面	壁に付く面に貼るベニヤ
扉	扉の外側の仕上材
棚板	可動棚の仕上材
引出前板	引出前板の外側の仕上材
背板	背板の仕上材
引出中箱	引出の中箱に使用する材料
芯材	フラッシュの芯組みに使う材料

「材料id」のプルダウンから選択してください。

例えば、扉の仕上が「外部」の仕上と同じ場合は、「材料id」のプルダウンで「---」を選択してください。「外部」の仕上げが扉にも指定されます。

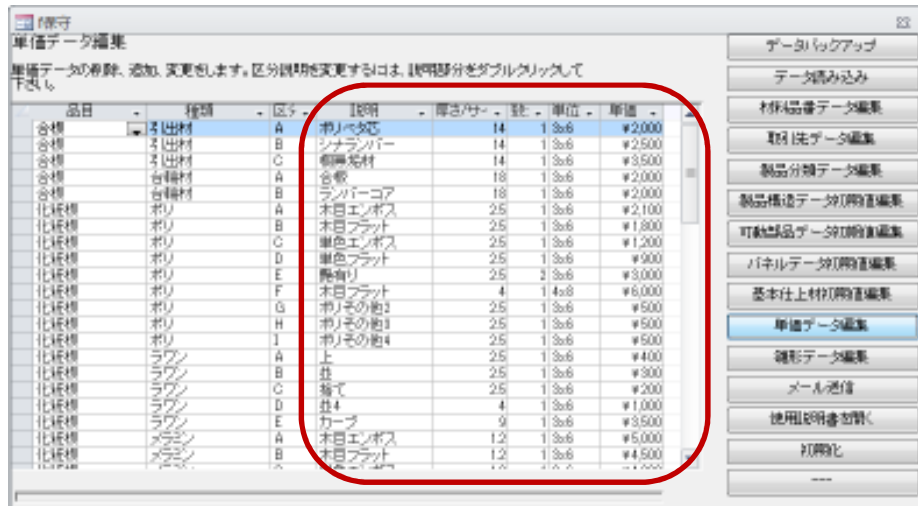
「底面」「壁付面」「扉」「棚板」「引出前板」「背板」の項目にも同じ設定がされています。

「材料id」の選択肢は、「単価データ編集」にて登録することができます。原則として、単価データの設定がされていない材料に関しては、選択できないようになっています。

7-6 単価データ編集

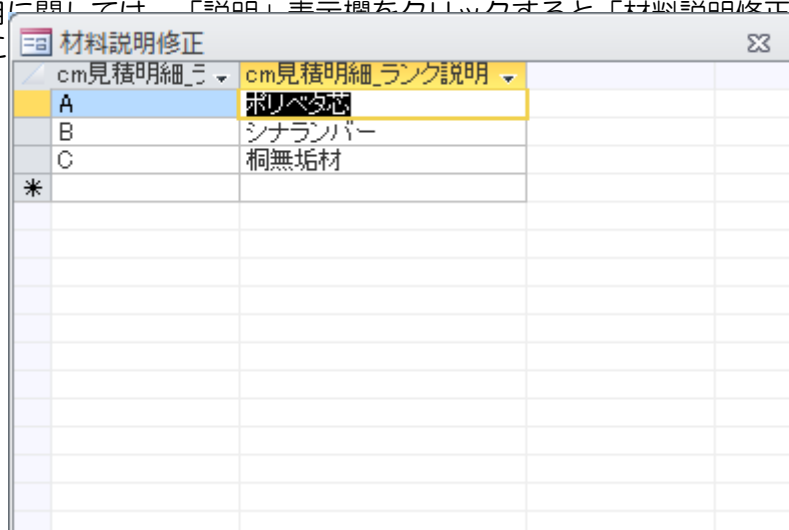
※無料評価版ではご利用できません。ご注意ください。

単価データを編集します。単価データの編集は「保守画面」から行います。



「説明」「厚さ/サイズ」「単位」「単価」の組み合わせで設定します。

「説明」の項目に関しては、「説明」表示欄をクリックすると「材料説明修正」画面が表示されるので、そこ



7-7 その他の編集

これまで、編集した4つの項目以外にも「材料品番」「取引先」「製品分類」の3項目を編集することができます。この3つの項目は「製品詳細入力」画面でも編集できます。初めに登録しておくことでスムーズに作業が進みます。

「材料品番」 使用材料の品番です。ポリ板やメラミンなどの品番を登録できます。

「取引先」 取引先の会社名です。

「製品分類」 製作する家具の分類です。各工場における家具に対する呼称を登録します。

例 下駄箱、カウンター下収納、吊り棚、本棚など

ここまでの登録ができましたら、初期値編集は終了です。